

施設評価調査

基準日 令和6年3月31日

施設名	板戸海水プール		施設番号	04018	
施設大分類	その他	施設中分類	その他	施設小分類	その他
所管課	下田市観光交流課				

効率性

計画と実績

効率性指標		R4年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	対前年度比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用者数	0 人		0 人	-	-
	B 下田市年間経費	0 円		0 円	-	-
	B / A	- 円		- 円	-	-
②光熱水費		0 円		0 円	-	-
効率性指標の考え方等						

その他の指標

受益者負担 の適正性	区分	説明	単位	R3年度		R4年度		R5年度	
	①使用料原価	1㎡1時間当たりの原価	円		円		円		円
②稼働割原価率	年間経費を年間収入で賄えない比率	%		%		%		%	
③1㎡1時間適正使用料	① × ②	円		円		円		円	
④現行1㎡1時間使用料の平均	大・小ホール、会議室、楽屋等の平均値	円							円
⑤適正化計画	大・小ホール、会議室、楽屋等の見直し								

運営に掛かる税負担 (市民負担)	年度		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(予算)
	人口(4月1日:人)		20,734	20,287	19,963	19,545
	人口1人あたり(円/人)	運営経費	0	0	0	
年間総経費		0	0	0		

* 人口1人あたりの運営経費：運営経費（支出計）／人口 * 小数点以下切り上げ
 * 人口1人あたりの年間総経費：下田市負担年間総経費／人口 * 小数点以下切り上げ

施設評価調査書

基準日 令和6年3月31日

施設名	板戸海水プール			施設番号	04018
施設大分類	その他	施設中分類	その他	施設小分類	その他
所管課	下田市観光交流課				

利用者満足度調査

実施の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	調査の方法		R5年度調査数		件
1 調査結果						
	設問		回答種類		R5年度回答	
2 調査結果から読み取れること						
<p style="height: 40px;"></p>						
3 次年度以降への改善点						
<p style="height: 40px;"></p>						

施設評価調書

基準日 令和6年3月31日

施設名	板戸海水プール	施設番号	04018
施設大分類	その他	施設中分類	その他
		施設小分類	その他

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	板戸海水プール	2 担当課 担当係	観光交流課			
3 所在地	下田市白浜130番地	4 設置年月				
5 総合計画の 位置付け	基本計画の分野					
	施策体系					
6 設置目的	市民の海浜利便の向上及び観光の振興を図る					
7 設置根拠	県の観光施設整備事業					
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 1999.63㎡				
	実施事業 の概要	現在、休止中（平成18年度から休止）。 原因：敷根温水プールの完成により役目を終えた。施設の老朽化、現在の自然志向からするとマイナスイメージとなっている。				
	料金体系 (利用料金)	料金区分				
		主な 利用 料金				
減免内容						
	利用料金制度	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無			
施設運営 方法			指定管理者			
			一部委託 委託内容			
直接従事職員						

施設評価調書

基準日 令和6年3月31日

施設名	板戸海水プール	施設番号	04018
施設大分類	その他	施設中分類	その他

施設の概要

9 市内の類似施設	下田市所有	
	民間所有	

	取得費及び財源内訳		R5年度末残高		備考
10 取得費等の情報 (単位：円)	建設事業費				
	地質調査費		建物減価償却取得価格		
	設計競技		建物年間減価償却額		
	周辺整備				
	用地購入		建物減価償却後残高		
	実施設計料				
	工事管理費				
	取得価格 計		土地残高		
	建設工事		建設工事残存価格		
	電気設備工事		電気設備残存価格		
	機械設備工事		機械設備残存価格		
財源内訳					
国・県支出金					
市債		市債残高			
一般財源					
基金繰入					

11 備考	
-------	--